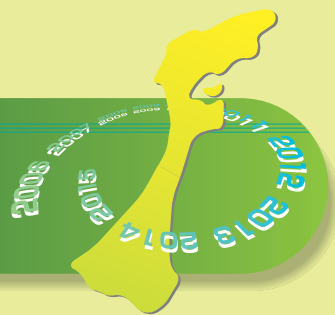


改定にあたって



(1) 改定の趣旨

- 1 本県は、これまで、平成8年に策定した石川県新長期構想「世界に開かれた文化のくにづくり構想」を指針として、平成22年(2010年)を目標年次とし、「個性、交流、安心のふるさとづくり」を進めてまいりました。
- 2 この間、策定から10年が経過し、計画に盛り込まれている、日本海側の中核県としてのハード、ソフトの主要事業が一つ一つ目に見える形で実現してまいりました。
- 3 しかしながら、県政運営の基本的な方向性は変わらないまでも、
 - (1)近年の予想を上回る少子高齢化の進行により、いよいよ人口減少時代や、超高齢社会を迎えようとしていること
 - (2)地方分権も理念の段階から実行の段階に入ってきたこと
 - (3)北陸新幹線金沢開業を視野に入れた新たな施策展開が必要であること
 - (4)個別分野においても、「いしかわエンゼルプラン2005」、「新ほっと石川観光プラン」、「石川県産業革新戦略」等を策定してきており、長期構想との間に少なからず乖離が生じていること
 - (5)さらには、財政状況が一段と厳しくなっていること
 など、本県を取り巻く環境の大きな変化がありました。
- 4 そこで、当初の目標年次まで若干、計画期間を残しておりますが、長期構想を改定することといたしました。

(2) 計画の性格

本計画は、県が県民の皆様とともに石川の新たな時代を切り拓いていくための県政運営の長期的かつ総合的な基本指針であり、目指すべき目標を共有し、その実現に向けてそれぞれの立場で努力をするために、施策の基本的な方向をお示しするものです。

(3) 計画の期間

平成18年度(2006年度)を初年度とし、平成27年度(2015年度)を目標年次とする概ね10年間の計画とします。

